

東京都個人タクシー協会

会報

乗って安心個人タクシー



平成23年
6月号

第1回 理事会の 焦点

私達の事業を守るために やるべき事をやろう

■開催

5月20日(金)午後1時 場所/日個連会館

■議題

- ① 第32回通常総会提出議案に関する件
- (1) 平成22年度事業報告に関する件
- (2) 平成22年度一般会計並びに共済会計決算報告に関する件
- (3) 平成23年度事業計画(案)に関する件
- (4) 平成23年度一般会計並びに共済会計予算(案)に関する件
- ② 第32回通常総会等「平成23年7月1日」のスケジュールに関する件
- ③ 第32回通常総会における来賓者に関する件
- ④ 平成23年度スローガンに関する件
- ⑤ (社)東京都個人タクシー協会代議員一部変更に関する件
- ⑥ (社)全国個人タクシー協会関東支部代議員一部変更に関する件



適正営業についての徹底をお願いする
木村会長

指導員に乘禁地区での営業を注意された事業者が、急発進して指導員にケガをさせた事件がありました

審議に先立って木村会長が、前回の理事会以降の様々な動きについて報告。さらに次のように付け加えられました。
不適正営業について「昨年4月、タクセンの

■議題①-③を巡って
平成23年度事業計画では、地域計画の目標達成に向けて、事業者の皆さんに特定事業への取り組みを要請しています。しかし、なぜ取り組まなければならないかの理解が徹底していません。そこを理解するかしないかが、団体役員と一般事業者の意識の差になっています。これは、個タクの存続のために避けて通れない取り組みである事を、改めて確認・徹底しましょう。

ついで、各所から苦情等の申告が多発している現状から、モラルの低下についても、改善をしていく必要があります。
その後の審議において、議題①⑥まで全てで可決承認されました。

意見・要望に対して 行政から回答

3月4日に行われた「平成22年度 行政との意見交換会」で、関東支部から行政に対して意見・要望をお伝えした結果、左記の通り回答が寄せられました(一部抜粋)。

- ① 試験制度について
- (1) 譲渡譲受認可申請の受付期間延長/回答: 現在のところ、申請者の不利益はないと考えられ、延長する予定はなし。
- (2) 遠距離割引認可申請に係る「個別審査」からの除外/回答: 適正な原価であるかのチェックは、安全やサービスの維持のために必要。
- (3) 事前試験による合格証取得制度の創設/回答: 昨年に引き続き、本省へ上申。
- ② 新規許可の一定枠確保について
- タクシー新法の特定期域における新規許可の一定枠の確保/回答: 法人業界が減休車に取り組んでいる現状では困難だが、本省へ上申。
- ③ 譲渡譲受について
- (1) 譲渡人の年齢制限の撤廃
- (2) 死亡後譲渡制度の復活/回答: 昨年に引き続き本省へ上申。
- ④ 期限更新について
- 協会未加入者に係る期限更新新時講習の義務化/回答: 未加入者には機会ある毎に指導監督を行っていきたい。
- ⑤ 適正化対策について
- 是正指導を受けた者の通報案件の強化/回答: 通報期間を1年から2年にすれば監査の対象者は増えるが、処分の実効性の観点から現在、検討を重ねているところ。

都内個人タクシーの現況 (平成23年5月1日現在)

許可事業者数	16,737名	(前月比-50名)
(特別区、武三)	16,258名	(北多摩187名 南多摩292名)
傘下事業者数	16,521名	(前月比-38名)
(特別区、武三)	16,044名	(北多摩187名 南多摩290名)

平成22年度事業報告 (一部抜粋)

景気低迷に東日本大震災が追い打ち

事業活性化への取り組み

業界の再構築に向けた法人タクシーの減・休車は、昨年4月以降に活発化。今年4月14日現在、特別・武三地区における車両数は2万7980両、減車率は17・6%と、約6000両の減・休車に達しました。

一方、個人タクシーは、規制強化にも影響され、平成14年度末の1万9141名から平成22年度末には1万6787名と2354名も減少。新規許可が凍結されたことで、平成22年度の新たな事業者は譲渡譲受認可事業者のみの344名に止まっており、この1年でも633名の減少と、事業者数の減少に一層の拍車がかかった感があります。

適正化とともに活性化への取り組みも始まりました。マスターズ制度への参加、メーター連動ETCの導入、映像記録型ドライブレコーダーの導入など、9項目から事業者個々が取り組む事項を選んで実施。また、全事業者が取り組む事項として、サービス向上のための教育・研修の実施、短距離客歓迎のPRなど5項目を定めました。しかし一部、実施状況が十分とは言えない事項もあることから、

今後の事業者の皆様への取り組みに期待するところです。

減・休車効果が震災で激減

厳しい景況に追い打ちをかけたのが、東日本大震災です。3月11日、東北の太平洋沿岸部を震度7の激しい揺れと、20メートルを超える津波が襲いました。被災地は瓦礫の山と化し、死者・行方不明者は2万6000名を超える、戦後最大の自然災害となりました。これに加え、福島第一原子力発電所で事故が発生。半径20kmに避難指示が出される前例のない事態となりました。

その頃タクシー業界では、減・休車が効果を見せ始め、昨年12月から今年2月にかけて対前年同月比でプラス傾向となる等、今後への期待が膨らんできた状況でした。しかし、震災当日の都内の大渋滞に始まり、電力不足からくる計画停電、鉄道各社の運行本数の調整等で首都圏は大混乱に陥り、震災後の輸送実績は、対前年比3割減という惨憺たる数字となりました。被災地の1日も早い復旧と、社会全般の機能回復が待たれます。

正味財産増減計算書総括表

平成22年5月1日から平成23年4月30日まで

科目	一般会計	共済会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	131,993,600	0	131,993,600
受取掛金	0	20,292,900	20,292,900
事業収益	7,606,200	0	7,606,200
雑収益	702,807	0	702,807
経常収益計	140,302,607	20,292,900	160,595,507
(2) 経常費用			
研修事業費	21,209,319	0	21,209,319
適正化事業費	20,291,568	0	20,291,568
教育広報事業費	16,683,590	0	16,683,590
統計事業費	5,450,572	0	5,450,572
経営改善事業費	8,823,026	0	8,823,026
安全事業費	12,023,395	0	12,023,395
事務代行事業費	13,618,413	0	13,618,413
共済事業費	0	12,676,565	12,676,565
管理費	46,988,861	0	46,988,861
経常費用計	145,088,744	12,676,565	157,765,309
当期経常増減額	△ 4,786,137	7,616,335	2,830,198
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
移転関連費	4,456,800	0	4,456,800
経常外費用計	4,456,800	0	4,456,800
当期経常外増減額	△ 4,456,800	0	△ 4,456,800
当期一般正味財産増減額	△ 9,242,937	7,616,335	△ 1,626,602
一般正味財産期首残高	72,443,629	7,874,029	80,317,658
一般正味財産期末残高	63,200,692	15,490,364	78,691,056
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	63,200,692	15,490,364	78,691,056

平成22年度セルフテイドライバー・コンテンツ(平成22年10月1日〜平成23年3月31日)達成率は57・1%。60%突破をめざして更なる安全運転を

監視庁主催の「セルフテイドライバー・コンテンツ」の集計結果が報告されました。今回の結果は、前回は6・2ポイント上回り57・1%となりました。

◆参加者 161組805名(161組805名)

◆達成者 92組460名(82組410名)

◆無事故・無違反達成率 57・1%(50・9%)

※()内は前年の数値

〔2年連続達成〕

足立第一支部、荒川支部、大田第二支部、葛飾第一支部、世田谷第一支部、台東支部、都心支部、中野支部、文京第一支部、文京第二支部、目黒第一支部、目黒第二支部、杉並第二支部、練馬第二支部、新東京支部、北多摩支部、浮間支部、葛飾支部、さくら協組、自交総連南多摩、町田協会、全東京協組、第一事業団協組、東京旅客協会、東京都民主協組、東優協会

〔6年連続達成〕

世田谷第二支部、南多摩支部、東支部、多摩個連

〔5年連続達成〕

足立第二支部、城南支部、板橋支部

〔4年連続達成〕

江戸川第一支部、城北支部、交友支部、新中野支部、四〇支部

〔3年連続達成〕

北第二支部、品川第二支部、品川第三支部、新

〔達成〕

板橋第一支部、大田第一支部、葛飾第二支部、北支部、渋谷支部、世田谷第三支部、朋友支部、東京新足立協組、東陽支部、東部協組、事業団支部、都民同盟支部、東京西北支部、豊玉支部

事故防止コンテスト

お客様に安心してご乗車いただける個人タクシーをめざして

当協会では、交通事故防止意識の高揚と輸送の安全性の向上を図ることを目的に、交通共済協同組合等からデータの提供を受け、年間の事故発生率(事故件数/事業者数)の低い上位所属団体を表彰する「事故防止コンテスト」を初めて行い、上位5団体へは、通常総会において表彰状と記念品を授与いたします。

今回のコンテストでは、事業者数1万6560名のうち事故件数は2008件、事故発生率は12・13%という結果となりました。

★上位5団体★

Table with 5 columns: 順位, 団体名, 事業者数, 事故件数, 事故発生率. Rows include 北多摩支部, 北第二支部, 世田谷第二支部, 渋谷支部, 新東京支部.

※事業者数は平成23年3月31日現在

シルバータクシードライバー交通安全教室

事故防止に向けて自分をチェック

5月18日(水)、世田谷区の警視庁交通安全教育センターで「シルバータクシードライバー交通安全教室」が開催されました。対象は70歳以上で、個人・法人から各16名が参加。冒頭で警視庁交通総務課交通安全担当管理官が、昨年の都内の交通事故による死者の4割近くが65歳以上の高齢者であることをあげ、この教室の意義を参加者に説明しました。それを受けて午後0時から5時まで、走行訓練をはじめ視野計測、動体視力検査、反射神経の測定等を通して自分の現在の運転能力を総合的にチェックしました。

参加した音地国夫さん(78歳・東京西北支部)は「運転能力は大丈夫でしたが、



今回の交通安全教室に参加した音地国夫さん

老眼が進む等、加齢による衰えは防げません。安全のためには気持ちの持ちようも大切ですが、今後機会を見つけて自分をチェックしていきたいですね」と、安全運転への思いを新たにしていました。



走行訓練のスタート地点



動体視力検査

春の全国交通安全運動実施期間中における交通事故防止活動

シートベルト着用状況の調査・指導を実施

春の全国交通安全運動期間中の5月19日(木)、東京駅と新宿駅において、シートベルト着用状況の調査・指導と共に、乗務員・事業者に対する交通事故防止を呼び掛ける運動が行われました。この活動は東京運輸支局・警視庁・東旅協・ハイタク交通共済・都個協合同で行われたもので、協会からは安全対策委員会担当の横山副会長、小嶋委員長をはじめとする4名が参加し、正しいシートベルト着用方法を訴えるチラシやノベルティグッズ(バンドエイド)を配るとともに、クリップ留めをする危険ドライバーに対しては、シートベルトの正しい着用を呼び掛けました。

参加した横山副会長は「平成



「事故防止対策に積極的に取り組んでいきたい」と言う横山副会長

22年度は、これまで減り続けていた事故件数が前年度より300件も増えていきます。お客様の減少による長時間労働や焦り等が原因と考えられますが、このままでは個人タクシーの社会的評価を上げる事は出来ません。シートベルト着用を呼び掛けるだけではなく、講習会をはじめ、様々な事故防止対策に取り組んでいく必要があるでしょう」と、事故防止に向けた息の長い活動の必要性について語りました。

行政処分状況

平成23年4月分

Table with 6 columns: 処分日, 氏名, 処分内容(車両停止), 違反条項, 違反概要, 点数. Lists administrative penalties for various drivers in April 2023.

訃報

* 4月

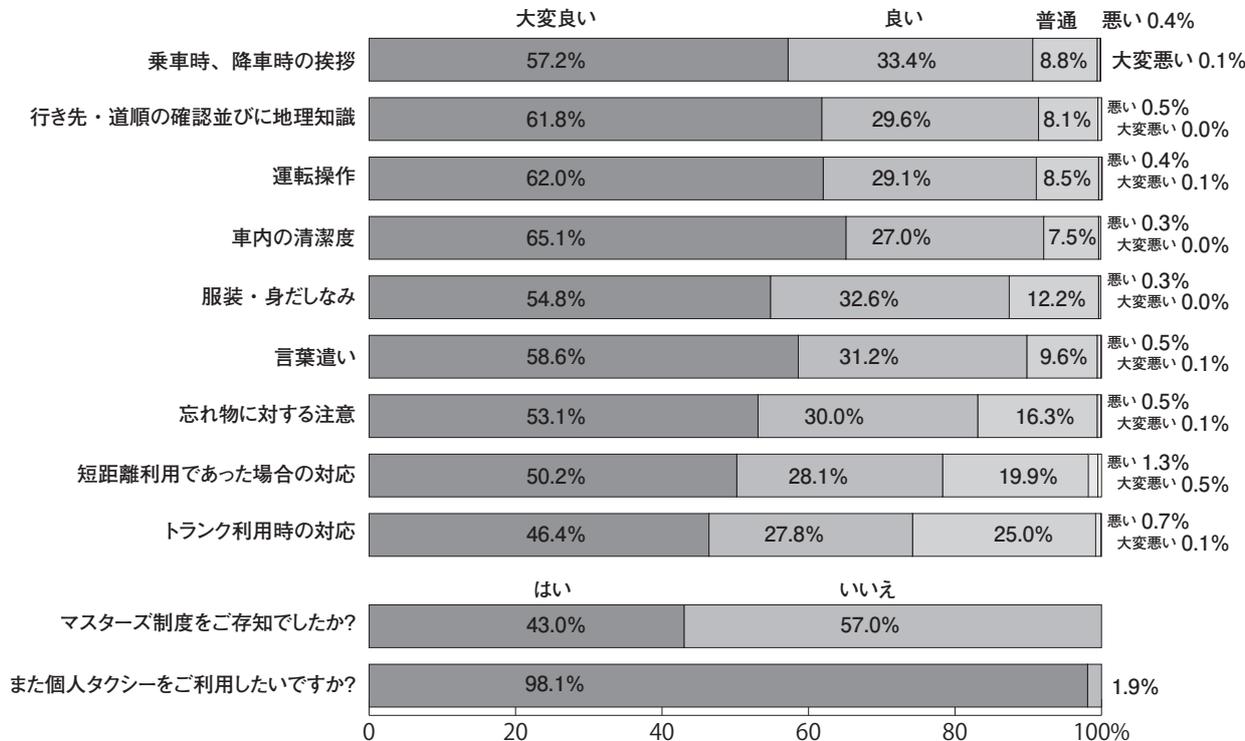
Table with 4 columns: 氏名, 所属団体, 享年, 病名. Lists obituaries for 直井勝利, 崎田勝, 木浪正寿, 馬淵直衛, 大島守, 加藤一夫.

ご冥福をお祈り申し上げます

顧客満足度調査結果

全体的に高評価だったものの「マスタース制度」については周知不足

昨年12月1日～21日まで行われた「顧客満足度調査」の結果が出ましたので、下記の通りご報告いたします。



平成22年度苦情・要望等集計報告書

(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

内容別	申告事案 (前年)	匿名事案 (前年)	合計 (前年)
接客態度不良	24 (33) 件	39 (18) 件	63 (51) 件
言葉遣い	13 (25) 件	28 (16) 件	41 (41) 件
地理不案内	7 (3) 件	5 (1) 件	12 (4) 件
福祉・障害者関係	1 (2) 件	3 (0) 件	4 (2) 件
領収書トラブル	1 (1) 件	1 (0) 件	2 (1) 件
その他	2 (2) 件	2 (1) 件	4 (3) 件
料金トラブル	16 (26) 件	9 (2) 件	25 (28) 件
不当料金請求	1 (3) 件	3 (0) 件	4 (3) 件
料金不審	11 (12) 件	2 (1) 件	13 (13) 件
カード等トラブル	1 (7) 件	3 (1) 件	4 (8) 件
釣り銭トラブル	3 (4) 件	1 (0) 件	4 (4) 件
迂回運転	9 (13) 件	8 (0) 件	17 (13) 件
運転操作不適切	0 (0) 件	4 (0) 件	4 (0) 件
乱暴運転・危険運転	8 (13) 件	13 (7) 件	21 (20) 件
モラル	2 (5) 件	7 (6) 件	9 (11) 件
目的地違い	2 (13) 件	1 (0) 件	3 (13) 件
車内臭気・車内清掃不良	0 (1) 件	1 (0) 件	1 (1) 件
運送の引受けの拒絶	0 (1) 件	0 (1) 件	0 (2) 件
運送の継続の拒絶又は中断	2 (1) 件	2 (1) 件	4 (2) 件
客選び行為	1 (1) 件	1 (0) 件	2 (1) 件
メーター操作不適切	0 (1) 件	0 (0) 件	0 (1) 件
禁煙車トラブル	1 (0) 件	1 (0) 件	2 (0) 件
高齢によるもの	0 (1) 件	2 (0) 件	2 (1) 件
荷物の積み卸しトラブル	3 (0) 件	1 (1) 件	4 (1) 件
ドア開閉不注意	0 (2) 件	1 (3) 件	1 (5) 件
聴覚障害	1 (0) 件	1 (0) 件	2 (0) 件
その他	10 (6) 件	4 (1) 件	14 (7) 件
合計	79 (117) 件	95 (40) 件	174 (157) 件

【苦情対象事業者の年齢構成】

事業者数	件数	比率	事業者数	件数	比率
40歳未満	202 人	4 件 1.980%	60～64歳	4,825 人	31 件 0.642%
40～44歳	646 人	2 件 0.310%	65～69歳	3,262 人	33 件 1.012%
45～49歳	995 人	6 件 0.603%	70～74歳	1,922 人	23 件 1.197%
50～54歳	1,286 人	13 件 1.011%	75歳以上	1,000 人	23 件 2.300%
55～59歳	2,423 人	25 件 1.032%	不明		15 件

※1申告に複数の対象事業者あり

【申告者の性別】 男性90件 女性80件 不明4件 【感謝】 6件

平成22年度苦情・要望等集計報告書 苦情・要望は合計174件。昨年と同様に接客態度不良、料金トラブルが上位

■平成23年6月
〔重点指導地区〕
①銀座・新橋地区における違法行為の防止指導及びタクシー乗り場等適正運営推進制度規制無視の防止指導
②新宿駅周辺における違法行為の防止指導及び乗り場周辺の交通安全業務

【特別公開指導】
①日時 平成23年6月24日(金) 午後10時から翌午前1時まで
②場所 銀座・新橋地区/新宿駅周辺
③指導内容 銀座・新橋地区/違法行為の防止指導及びタクシー乗り場等適正運営推進制度規制無視の防止指導
新宿駅周辺/違法行為の防止指導及び乗り場周辺の交通安全業務

■平成23年7月
〔重点指導地区〕
①銀座・新橋地区における違法行為の防止指導及びタクシー乗り場等適正運営推進制度規制無視の防止指導
②渋谷駅周辺における違法行為の防止指導及び乗り場周辺の交通安全業務

【特別公開指導】
①日時 平成23年7月29日(金) 午後10時から翌午前1時まで
②場所 銀座・新橋地区/渋谷駅周辺
③指導内容 銀座・新橋地区/違法行為の防止指導及びタクシー乗り場等適正運営推進制度規制無視の防止指導
渋谷駅周辺/違法行為の防止指導及び乗り場周辺の交通安全業務

タクシーセンターの街頭指導計画